

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-241870 (P2004-241870A)
 【公開日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-033
 【出願番号】特願 2003-26605 (P2003-26605)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/00

H 0 4 M 11/00

H 0 4 N 1/32

【F I】

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

H 0 4 M 11/00 3 0 3

H 0 4 N 1/32 F

H 0 4 N 1/32 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 12 日 (2005.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

公衆回線網にファクシミリ送信可能で、かつインターネットにファクシミリ送信するインターネットファクシミリ装置において、

オフランプゲート宛先のドメイン名を登録する操作部と、

該操作部により登録したオフランプゲート宛先のドメイン名を記憶する宛先記録部とを有し、

送信時に電話番号が入力されるとインターネット経由で送信するか否かを選択させ、インターネット経由でのファクシミリ送信が選択された場合予め登録されたオフランプゲート宛先を指定し、オフランプゲート宛先のドメイン名に電話番号情報を付加してインターネットへのファクシミリ送信を行うことを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項 2】

公衆回線網にファクシミリ送信可能で、かつインターネットにファクシミリ送信するインターネットファクシミリ装置において、

オフランプゲート宛先のドメイン名とオフランプゲートする電話番号の市外局番を登録する操作部と、

該操作部により登録したオフランプゲート宛先のドメイン名と電話番号の市外局番を記憶する宛先記録部とを有し、

送信時に電話番号が入力されると電話番号の市外局番と予め登録されたオフランプゲート宛先の市外局番が一致するかを判断し、一致する場合はオフランプゲート宛先のドメイン名に電話番号情報を付加してインターネットへのファクシミリ送信を行うことを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項 3】

直接送信時は市外局番の一致するかの判断せず、常に公衆回線網で送信する請求項 2 記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 4】

インターネット送信時に電話番号とオフランプゲートのドメイン名が入力されたが直接送信が選択された場合、電話番号とオフランプゲートのドメイン名から電話番号だけを取り出して公衆回線網へファクシミリ送信を行う請求項 1 又は 2 に記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 5】

インターネット送信時に電話番号とオフランプゲートのドメイン名が入力されたが送信モードが小さい字より詳細な線密度が選択されたか、あるいは送信原稿が所定の幅より広い原稿幅の場合は電話番号とオフランプゲートのドメイン名から電話番号だけを取り出して公衆回線網へファクシミリ送信を行う請求項 1 又は 2 に記載のインターネットファクシミリ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はインターネットファクシミリ装置に関し、詳細には公衆回線網にファクシミリ送信を行うことができ、かつインターネットにファクシミリ送信を行うことができるインターネットファクシミリ装置に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明はこれらの問題点を解決するためのものであり、ユーザが簡単な操作で電話番号とオフランプゲートのドメイン名を指定することが可能となり、かつ同じオフランプゲートを経由する場合オフランプゲートを経由する各宛先に登録する必要がなくなるインターネットファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

前記問題点を解決するために、本発明のインターネットファクシミリ装置は、公衆回線網にファクシミリ送信可能で、かつインターネットへのファクシミリ送信が可能である。また、本発明のインターネットファクシミリ装置は、オフランプゲート宛先のドメイン名を登録する操作部と、操作部により登録したオフランプゲート宛先のドメイン名を記憶する宛先記録部とを有している。そして、送信時に電話番号が入力されるとインターネット経由で送信するか否かを選択させ、インターネット経由でのファクシミリ送信が選択された場合予め登録されたオフランプゲート宛先を指定し、オフランプゲート宛先のドメイン名に電話番号情報を付加してインターネットへのファクシミリ送信を行う。よって、ユーザが簡単に電話番号とオフランプゲートのドメイン名を指定することが可能となると共に、同じオフランプゲートを経由する場合、オフランプを経由する各宛先に登録する必要がなくなる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、本発明のインターネットファクシミリ装置は、オフランプゲート宛先のドメイン名とオフランプゲートする電話番号の市外局番を登録する操作部と、操作部により登録したオフランプゲート宛先のドメイン名と電話番号の市外局番を記憶する宛先記録部とを有している。そして、送信時に電話番号が入力されると電話番号の市外局番と予め登録されたオフランプゲート宛先の市外局番が一致するかを判断し、一致する場合はオフランプゲート宛先のドメイン名に電話番号情報を付加してインターネットへのファクシミリ送信を行う。よって、市外局番の一致により自動的にオフランプゲートのドメイン名を付加することにより操作が簡単になる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、インターネット送信時に電話番号とオフランプゲートのドメイン名が入力されたが直接送信が選択された場合、電話番号とオフランプゲートのドメイン名から電話番号だけを取り出して公衆回線網へファクシミリ送信を行う。よって、電話番号とオフランプゲートのドメイン名が登録された場合でも直接送信ができ、ユーザに宛先のオフランプゲートのドメイン名を削除させる操作が必要なくなる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

更に、インターネット送信時に電話番号とオフランプゲートのドメイン名が入力されたが送信モードが小さい字より詳細な線密度が選択されたか、あるいは送信原稿が所定の幅より広い原稿幅の場合は電話番号とオフランプゲートのドメイン名から電話番号だけを取り出して公衆回線網へファクシミリ送信を行う。よって、精細な読取モード、あるいは所定の幅より広い原稿幅の場合ユーザが希望する画像を届けることができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【発明の実施の形態】

本発明のインターネットファクシミリ装置は、送信時に電話番号が入力されるとインターネット経由で送信するか否かを選択させ、インターネット経由でのファクシミリ送信が選択された場合予め登録されたオフランプゲート宛先を指定し、オフランプゲート宛先のドメイン名に電話番号情報を付加してインターネットへのファクシミリ送信を行う。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明のインターネットファクシミリ装置は、公衆回線網にファクシミリ送信可能で、かつインターネットへのファクシミリ送信が可能である。また、本発明のインターネットファクシミリ装置は、オフランプゲート宛先のドメイン名を登録する操作部と、操作部により登録したオフランプゲート宛先のドメイン名を記憶する宛先記録部とを有している。そして、送信時に電話番号が入力されるとインターネット経由で送信するか否かを選択させ、インターネット経由でのファクシミリ送信が選択された場合予め登録されたオフランプゲート宛先を指定し、オフランプゲート宛先のドメイン名に電話番号情報を付加してインターネットへのファクシミリ送信を行う。よって、ユーザが簡単に電話番号とオフランプゲートのドメイン名を指定することが可能となると共に、同じオフランプゲートを經由する場合、オフランプを經由する各宛先に登録する必要がなくなる。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

また、本発明のインターネットファクシミリ装置は、オフランプゲート宛先のドメイン名とオフランプゲートする電話番号の市外局番を登録する操作部と、操作部により登録したオフランプゲート宛先のドメイン名と電話番号の市外局番を記憶する宛先記録部とを有している。そして、送信時に電話番号が入力されると電話番号の市外局番と予め登録されたオフランプゲート宛先の市外局番が一致するかを判断し、一致する場合はオフランプゲート宛先のドメイン名に電話番号情報を付加してインターネットへのファクシミリ送信を行う。よって、市外局番の一致により自動的にオフランプゲートのドメイン名を付加することにより操作が簡単になる。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

また、インターネット送信時に電話番号とオフランプゲートのドメイン名が入力されたが直接送信が選択された場合、電話番号とオフランプゲートのドメイン名から電話番号だけを取り出して公衆回線網へファクシミリ送信を行う。よって、電話番号とオフランプゲートのドメイン名が登録された場合でも直接送信ができ、ユーザに宛先のオフランプゲートのドメイン名を削除させる操作が必要なくなる。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

更に、インターネット送信時に電話番号とオフランプゲートのドメイン名が入力されたが送信モードが小さい字より詳細な線密度が選択されたか、あるいは送信原稿が所定の幅より広い原稿幅の場合は電話番号とオフランプゲートのドメイン名から電話番号だけを取り出して公衆回線網へファクシミリ送信を行う。よって、精細な読取モード、あるいは所定の幅より広い原稿幅の場合ユーザが希望する画像を届けすることができる。